

目次

P.1

第4回 裏磐梯雪まつり
学生ボランティアの守り狐体験

P.2

北塩原村
森林環境税の事業報告

写真>>

第4回 裏磐梯雪まつり
ジャズミニコンサート
から>>裏磐梯発エコツ
リズムの普及事業
に向けて

福島県より「ふるさと雇用再生事業」の委託を受け、平成21年度より3年間裏磐梯からエコツーリズムの普及へ向けて県内へ情報を発信する「裏磐梯発エコツーリズム普及事業」を実施しています。

ばんだい たからびと

【磐梯の宝人】

裏磐梯のウワサの「達人」今回の達人は、湯守りとして大塩裏磐梯温泉を知りつくしておいでいがらししゅうじの「五十嵐秀二」さんです。



米沢街道の宿場・大塩で「米澤屋」を営まれる傍ら、商工会特産品開発委員会として温泉水から作る「山塩」開発にも携わってこられ、現在は山塩企業組合代表理事もされています。

大塩で生まれ育って、大塩を愛し、温泉を守り、温泉を利用しての地域おこしに熱い宝人です。



サクスの音色が響くエコナイトファンタジー

2月17日（金）～26日（日）までロングランで行った第4回裏磐梯雪まつり。今年は、地元裏磐梯の大型ホテルさんの協力を得て、プレファンタジーを含め5夜連続開催のキャンドルナイト（18日、23日、24日、25日、26日）でした。

協会では、18日（土）恒例の「オープニングミニコンサート」を行い、裏磐梯を中心に活躍する“幌馬車Groove”のJAZZYな音色をお届けしました。メンバーは剣ヶ峯にお住まいの中川さんご夫妻と郡山にお住まいの秋山匡志さん。中川さんのご主人、広さんはサクス、奥さまの優子さんはオルガン（キーボード）。そしてラジオのパーソナリティとしてもご活躍の秋山さんをドラムに、テネシーワルツやホワット・ア・ワンダフル・ワールドなど、スタンダードな名曲で彩りを添えていただきました。

（最前列で耳を傾けるカップルはすっかり二人の世界に入り込んでおりました～♡）26日（日）には、「おもてなし夜会」を開催。裏磐梯にお住まいのおばあちゃん達が作るお漬物や、そばかりんとうなどの素朴なお菓子を、会場にお越しのお客様に振る舞いました。「裏磐梯にお泊りになると、こんな美味しい漬物やお菓子が召しあがれますよ～！こんどはぜひお泊りで裏磐梯を楽しんで下さいね～！」と地元の味をアピールしました。

「これ売ってるんですか？」という問い合わせが多く商品化できたなら、これまた北塩原の売りになるのにな…と。これまた次の展開が楽しみな裏磐梯雪祭りでした。

学生ボランティアの皆さんへ 感謝をこめて

今年の雪まつりには、協力的な助っ人が来てくれました。まるごと保養地協定を結んでいる杉並区の学生ボランティアの皆さんです。エコナイトファンタジー（キャンドル設置）も、連続開催であったため、雪像づくりなど準備から関わっていたスタッフはすでにお疲れ気味…。学生さんたちの協力で見る見るうちに会場が作られ、終了後のキャンドルの回収もあっという間に終了しました。若い力ってすばらしい！

最終日には、手伝って頂いた感謝の気持ちを込めて、村の歴史と木地師、守り狐に助けられた穴沢一族のお話を披露。思いを込めた守り狐を作っていただきました。学生さん達も今回のボランティアでは学ぶ事が多かった様子。きっと社会に出てリーダーとして活躍してくれるんだろうな～と未来に希望が持てました。



手元に集中！傑作の予感

裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村

大字松原字小野川原 1092-65

TEL 0241-23-7860

FAX 050-7541-2411

www.eco-urabandai.com



北塩原村から森林環境の助成を受けて

“北塩原村の人々の暮らし”を調査

「おれが若かった頃はな〜」「ちんちええ（小さい）ときは木地工場があつて〜」
…遠い記憶をたどる時、言葉が温くなるのはなぜでしょう？
記憶のかけらを大事に拾って、土のおいや風のぬくもりまでも
語って聞かせてくれました。

大事な貴重な経験を言葉に紡いで次の世代に残そうと…。

その記録をご紹介します。

大竹 繁さん（早稲沢地区）

早稲沢地区での木地師の仕事から農業、観光へと移り変わった経過についてお聞きしました。学生村として人気が出てきた頃や分校があった頃の村の賑わい。人々が協力しながら山や土地を守り続ける事の大切さ、大事な事を教わりました。

相原 久榮さん（檜原地区）

早稲沢地区と比較しながらの檜原地区の農業と観光の推移を教えてくださいました。「最盛期は民宿も忙しいべし、野菜なども採れる時期だから、昼も夜もねえ程忙しかつたのなし…」当時の暮らしぶりや子供達の学校生活、初めて除雪車が入った日の事…。楽しいお話でした。

中川 ヒデ子さん（剣ヶ峯地区）

加工食品会社を地区の人達に支えられながら営んできた事、地区の産業がどのように発展してきたのかについて。「山菜とりに行ったとき、川がさかさまに流れていて、おかしいおかしいと思いながら帰ってきた事があつたんだよ〜、いまだにおかしかったと思うもの…」狐に化かされた？不思議体験で話が盛り上がりました。

五十嵐 秀二さん（大塩地区）

大塩地区で営む温泉宿について。米沢街道の宿場であり、大塩の四季・里山・農業・宿場…とお話が広範囲にわたりました。柏木城も整備され宝庫のような大塩地区。お話は尽きません。

向井 義次さん・麗子さんご夫妻（曾原地区）

曾原と狐鷹森地区における開拓の変遷と当時の生活についてお聞きしました。「子供のころ、葉っぱの化石採りが流行ったことがあつてね〜、競って探したもんだわ〜」今まだありますか？って思わず聞いちゃいました。

荒井 正弘さん（剣ヶ峯地区）

剣ヶ峯地区の観光業について。会津若松市出身でありUターン先を裏磐梯として、ペンションを開業するまでとその後についてお聞きしました。

阿部 好喜さん（金山地区）

「今から20年位前、ハヤの産卵の頃には桧原湖の縁に真っ黒になるほど上がってきて、何度サシアミをかけても引き上げられないほどたくさん釣れたもんだ。この桧原湖の恵みで人は育ってきたんだ〜」命育む桧原湖。守っていかなくては…と思います。

来年度も皆さんの所にお話を聞きに参ります。どうぞよろしくお願い致します。

「ばんだいの宝発見講座」

今年度よりカレッジの名前を新たに「ばんだいの宝発見講座」といたしました。皆さんと共に、磐梯の宝をたくさん発見していきたいと思ひます。

この講座では、観光地としての魅力（自然・歴史・文化・人材）を掘り起こし、それを学び、守り、伝える活動を通し、質の高いサービス（おもてなし）の提供を可能にする事を目的とし、住民総ガイドを目指しています。

講座には、どなたでも参加できます。ぜひ、一緒に裏磐梯の宝を再発見・再認識いたしまししょう！

※福島県ツーリズムガイドの地域講座に該当しています。3講座を受講の方には修了証を発行いたします。

源流域裏磐梯の水を守ろう！

「飲み残し ゼロ運動」 展開中！

ペットボトルを半分飲んだまま、缶コーヒーを残したまま、日頃つい残してしまう、コップの中身を流してしまうと、きれいな水に戻すにはその数倍の水を必要とします。油に気を使うだけでなく、ふだんの飲み物にも気を使いたいですね…。

